

事業実施完了報告書②

事業名	美ら島沖縄の海を次世代へ(ビーチクリーン)
団体名	NPO法人沖縄県環境管理技術センター
実施概要 (200字以内)	令和1年10月と令和2年3月に沖縄本島中部の海中道路にて海の清掃活動を行った。また、令和2年1月に津堅島にて環境教育と港周辺の清掃活動を行った。 当NPO会員、関係者、うるま市役所市民部環境課の協力のもと、参加を呼びかけた。 目的は、ビーチクリーンを行うことで、この美ら島沖縄の海を次世代へ残すことであり、またこの活動を通して参加者やビーチにレジャーで訪れた人々に、何か気づききっかけになると考えた。
実施内容	<p>(1回目) 開催日時: 令和元年10月12日(土)10時~11時 場所: 海中道路あやはし館 横のビーチ 参加人数: 20人 回収ゴミ袋: 9袋、その他粗大ごみ</p> <p>(2回目) 開催日時: 令和2年1月21日(火)13時~15時 場所: 津堅島 環境学習(津堅島小中学校/教職員10人、生徒16人) 清掃活動(キャロット愛ランドターミナル周辺) 参加人数: 33人 回収ゴミ袋: 34袋</p> <p>(3回目) 開催日時: 令和2年2月29日(土)10時~11時 場所: 海中道路あやはし館 横のビーチ 参加人数: 14人 回収ゴミ袋: 12袋、その他粗大ごみ</p> <p>【総括】 海の清掃活動に対する意識が高いうるま市役所環境課と県民に呼びかけ、令和1年10月と令和2年3月にうるま市内海中道路あやはし館横のビーチにて海の清掃活動を行った。広報はうるま市役所内とうるま市内数か所での掲示、関係者にはメールやアジェンダ事務局のホームページにて行った。 両日とも学生の参加も見られ、2年前と比べて環境問題に対する県民の意識が高くなっていると感じた。海岸のゴミの状況は、個人で清掃活動を行う方もおり少なかった。</p> <p>また、令和2年1月には津堅島小中学校にて環境学習とキャロット愛ランドターミナル周辺の清掃活動を行った。津堅島での活動は当初の企画にはなかったが、うるま市役所環境課の働きかけで実現することができた。 環境学習は「地球温暖化の紙芝居」、「地球温暖化とごみ問題」について、またうるま市環境課職員によるうるま市のごみ分別についての説明を1時間ほどで行った。その後キャロット愛ランドターミナル周辺の清掃活動を行った。 島で育った小中学生にとって、島内に捨てられたごみは日常の光景であったが改めて問題について考える良いきっかけになったと感想があった。</p> <p>離島におけるごみ問題は特に深刻であるため、本島の海岸も含め今後も継続的に清掃活動を行う予定である。</p>

(1回目)

開催日時: 令和元年10月12日(土)10時~11時

場所: 海中道路あやはし館 横のビーチ



参加人数: 20人

回収ゴミ袋: 9袋、その他粗大ごみ



(2回目)

開催日時: 令和2年1月21日(火)13時~15時

場所: 津堅島小中学校(環境学習)



参加人数: 生徒16人、教職員10人



場所: キャロット愛ランドターミナル周辺(清掃活動)

参加人数: 33人

回収ゴミ袋: 34袋

